

## 2013年産カリフォルニア・アーモンド市況



カリフォルニア時間の11月9日に10月末締めアーモンドポジションレポートが発表されました。

今年は昨年に比べ収穫が2週間早まった状況から、10月末時点での収穫量は13億8千5百万ポンドと、前年に比べ速いペース(111.8%)での受入れが続いています。11月以降も受入れ数量は伸びますが、最終的には第二次収穫予想の18億5千万ポンドと同程度か19億ポンド程度になる見込みです。(2012年産の収穫量は18億8千4百万ポンド)

一方、出荷の状況ですが、10月は単月として過去最高の2億2千8百万ポンドが出荷され、8～10月の累計出荷量も5億5千3百万ポンド(前年比107.2%)と、引続き堅調な模様です。

また、現地の在庫に関しても、既に5億ポンド以上が成約済みとなり、出荷済数量と成約済数量の合計は10億8百万ポンドを超えている状況から、2013年産の55%以上は既に販売済の状態です。

11月以降の市場の動きですが、ヨーロッパからは一定の引き合いがあるものの、中国市場は旧正月向けの手当てが一段落した事から静観ムードとなっています。

またアメリカドルに対するルビー安でインド市場も需要が減少している様子から、アメリカ現地の相場の値上がりも一服している模様です。

ただし、水不足の影響によって2014年度は減産となる状況が見込まれており、2013年産の超小粒傾向も相まって、大粒・中粒サイズはより一層タイト感がましてきている状況から、現地サイドに焦りは見られず、当面相場の値下がりも期待できそうにありません。

